

令和元年度 第1回 有田区地域協議会  
次 第

日時：令和元年5月27日（月）午後1時30分～  
会場：カルチャーセンター 研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【報告事項】

- ・第6次行政改革推進計画及び事務事業評価の結果について

【協議事項】

- ・地域活動支援事業について

① 提案者による提案説明、質疑応答

提案 No.	団体名	事業名	予定 時刻
3	「有田地区の歩み」を発行する会	「有田地区の歩み」（仮称）を発行する事業	14:00
2	有田こどもフェスタ実行委員会	有田わくわくフェスタ事業	14:05
6	有田地区体育・レクリエーション協会	有田地区体育・レクリエーション協会事業	14:10
7	直江津東中学校野球部保護者会	上越市立直江津東中学校野球グラウンド整備事業	14:15
11	350 同友会	第10回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業	14:20
1	有田福祉の会	有田地区いきいき支援事業	14:25
8	有田地区町内会長協議会	有田地区交通安全・防犯、防災啓発活動推進事業	14:30
9	有田地区小学校後援会	有田地区小学校音楽演奏活動支援事業	14:35
4	直江津東地域学園運営協議会	直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業	14:40
5		直江津東地域防災・防犯活動支援事業	14:45
10		直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	14:50

裏面あります

② 委員協議・採決

4 その他

5 閉 会

# 第6次上越市行政改革の概要

平成31年度 ▶ 平成34年度  
2019年度 ▶ 2022年度

行政改革とは、市民の皆さんが安心して暮らしていけるように、将来にわたって魅力あるまちづくりを行うため、市の仕事やその方法などを見直し、必要に応じて変えていく取組です。

人口減少や少子高齢化が進むとともに、財政収支の不均衡が顕在化し、さらに公共施設等の老朽化、子育てや福祉分野の政策推進に伴う事業費の増加など、市政運営を取り巻く環境は、より一層厳しさを増しています。

今後の市政運営においては、歳入規模に見合った歳出構造への転換を図り、持続可能な行財政基盤の確立に目途を付けなくてはなりません。

このため、上越市では平成31年度から平成34年度までの行政改革の方向性を示した「第6次上越市行政改革推進計画」を策定しました。

市民の皆さんと「まちの将来像」を共に考えながら、生活を支える基礎的な行政サービスを提供していくために、行政内部における業務の更なる効率化を図るとともに、必要性や優先度が低く、民間と重複したり、過剰となっている行政サービスを見直す必要があります。

「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」の実現に向け、市政運営と地域を支える取組を進めていきます。

# 上越市を取り巻く課題

## 人口減少・少子高齢化の進行

当市の人口は毎年減少が続いており、現在の約20万人が2045年には約14万人まで減少すると推計されています。(図1)

このまま人口減少が進行すると、市政運営や市民生活に大きな影響を及ぼすことも懸念されます。(図2)

このため、行政サービスの選択と集中を図るとともに、長期的な視点でまちの将来像を描き、その実現に向けた取組を進めることが必要です。

## 歳入・歳出の不均衡

市の財政は、平成28年度以降、毎年度発生する収支不足額を財政調整基金<sup>1)</sup>からの繰入金で補てんしています。

このままでは、近い将来、この基金が枯渇し、必要な行政サービスを賄えなくなることが想定されます。

このため、歳入を確保しつつ事業の見直し等による歳出削減を行い、持続可能な行財政基盤の確立と限られた経営資源の最適配分のための行政運営手法の見直しが必要です。

## 施設等の維持管理経費の増大

当市では、類似団体(施行時特例市<sup>2)</sup>)の中で市民一人当たりの延床面積が最も多い<sup>3)</sup>など、人口規模に比べ多数の公共施設を保有しています。機能が重複する施設がいくつも存在する一方で、施設の種別によっては、配置に偏りがあるなど不均衡な状況も認められます。

今後は、人口減少に伴う施設利用者の減少による使用料収入の減少や、施設の老朽化による維持管理経費の増大が懸念されます。また、温浴・宿泊施設等の管理運営を目的に設立した法人など第三セクターにおいては、経営状況が悪化している法人もあり、経営の健全化が必要です。

## 適正な職員数の確保

これまで、定員の適正化に向けた取組を計画的に進めてきたことにより、正規職員の人数は、市町村合併以降、496人減少し、1,894人(平成30年4月1日現在)となりました。

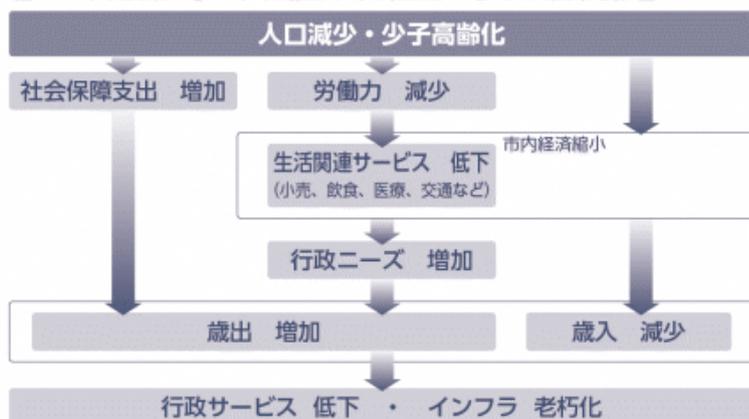
これを類似団体(施行時特例市)と比較すると未だ多い状況にあるものの、地勢や気候、合併による広域化など、当市固有の事情も考慮しながら、適正な職員数とする必要があります。

図1 当市の人口の推移



出所) 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」により作成  
※ 実績値における年齢区分別数には年齢不詳を按分した値を加えた

図2 人口減少等が市政運営や市民生活に与える経済的影響イメージ



1) 財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てられている基金

2) 特例市とは、人口20万人以上の市に都道府県の権限の一部を移譲するための制度。平成27年4月1日から、特例市制度は廃止され、中核市制度に統合された。この時点までに特例市に指定されていた市が「施行時特例市」となったもの。施行時特例市は平成27年4月1日時点で39市、平成30年4月1日時点で31市

3) 出所) 公共施設状況調査(平成29年3月31日現在)

# 第6次行政改革の取組

「すこやかなまち」づくりを着実に進めていくためには、市政運営や地域を支える行財政基盤が持続可能な状態であることが不可欠です。

財政収支の均衡を図りつつ、「すこやかなまち」の土台づくりを確実に進め、計画期間終了後に、次のような状態が確保されていることを目指し、基本方針に掲げる取組を進めていきます。

- ・第6次総合計画に掲げた「すこやかなまち」の実現の土台づくりが図られている状態
- ・平成35年度以降において、財政収支の均衡の目途が付いている状態
- ・「経営資源の最適配分」と「最少の経費で最大の効果をあげる」ための市政運営の仕組みが機能している状態

## 基本方針1 行政運営手法の見直し

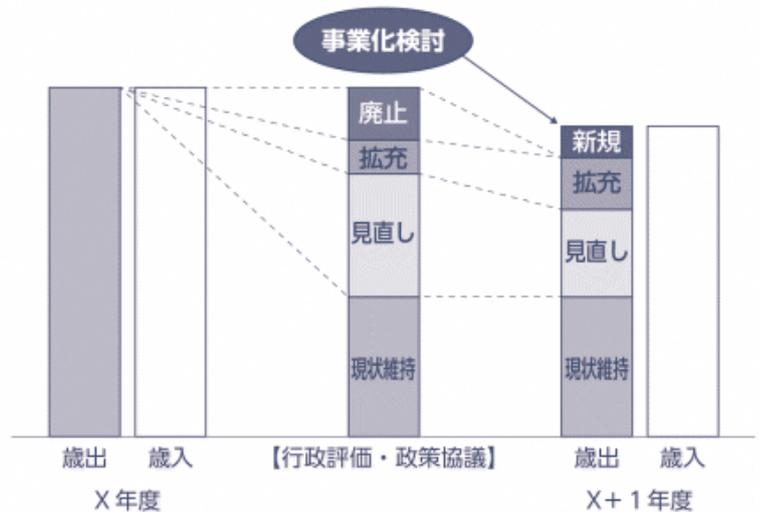
### (1) 行政評価の実施

- ・施策の優先度と、事務事業の必要性・有効性・効率性などの視点で評価を行い、見直します。
- ・事務改善等による事務の効率化や経費の節減、民間活力の活用を推進します。

### (2) 政策協議の実施

- ・まちづくりの方向性と経営資源を見据え、第6次総合計画の推進に必要な事業を選定し、優先度の高いものから取り組んでいきます。

行政評価、政策協議による経営資源の再配分イメージ



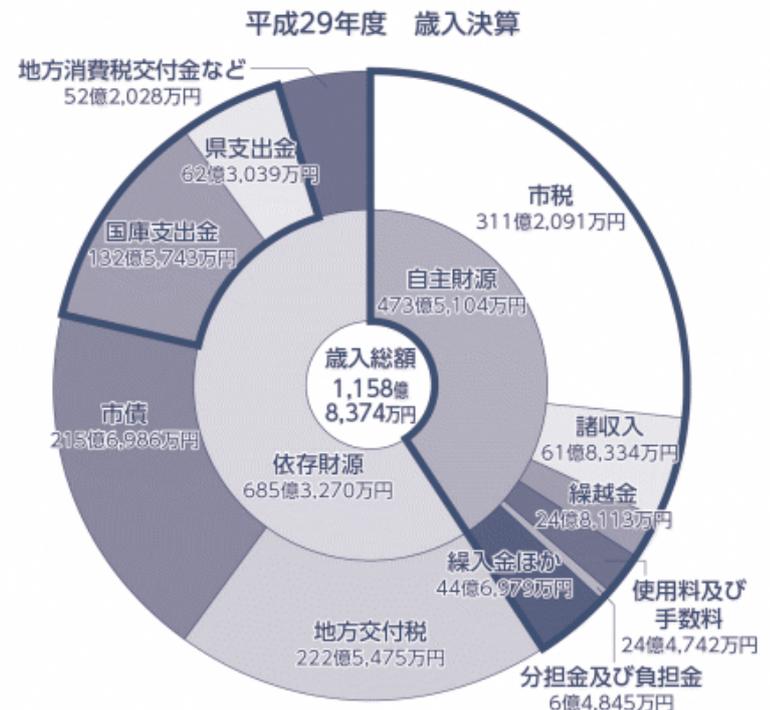
## 基本方針2 歳入確保の推進

### (1) 国県補助金等の確保

- ・情報の収集・共有により、国県等の補助制度や交付金等の有効活用に取り組みます。

### (2) 自主財源の確保

- ・未利用財産（土地等）の売却・貸付け、市税等の収納率向上や施設使用料など受益者負担の適正化を推進し、税源涵養の意識を持ちながら自主財源の確保に取り組みます。



※表記単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない。

## 基本方策3 公共施設の適正管理の推進

- ・施設の機能や役割に着目し、将来に向けて真に必要な施設や機能を顕在化させます。
- ・機能が必要な施設でも民間譲渡が可能な施設は、譲渡を推進します。
- ・近いエリアに複数あるスポーツ施設や集会施設などは、施設の受入能力や利用状況等に応じて統廃合します。
- ・将来にわたり存続させる施設は、適正かつ計画的な維持管理方策を具体化し、中長期的な維持管理・更新等の経費の削減を図ります。

主な適正配置対象施設の現状

種別	施設数		年間 公費負担額
		うち 経過年数 30年以上	
日帰り・宿泊温浴施設	16	2	3億2千6百万円
体育館	19	12	1億2千4百万円
貸館・交流施設	18	5	1億1千万円
公民館	49	34	6千8百万円
プール	4	4	3千4百万円
野球場	9	7	3千万円
生涯学習センター	12	9	1千6百万円
集会施設	23	11	1千2百万円

※ 施設数、経過年数は平成30年4月1日現在

※ 公費負担額は、維持管理経費から使用料等の収入を除いた経費で、平成26年度～28年度の3か年平均額  
維持管理経費は、委託料、光熱水費、修繕料（大規模修繕経費は含まない）その他の経費

## 基本方策4 第三セクター等の経営健全化の推進

- ・第三セクター等の存廃を含めて検証する抜本的改革を含む経営健全化に取り組みます。
- ・存続させる第三セクター等の有効活用と健全経営の支援に取り組みます。

当市の出資等の割合が25%以上の第三セクター 平成29年度経営状況

区分	法人数	うち 単年度 赤字	うち 累積 欠損金有	うち 債務超過
会社法法人	8	3	6	1
非営利法人その他 <sup>*1</sup>	10	6	-	-
小計	18	9	6	1
JHD <sup>*2</sup> の事業会社	7	4	3	1
合計	25	13	9	2

※1 非営利法人その他においては、累積欠損金と債務超過の判断はしていない

※2 当市の第三セクターであった会社法法人7社を統括運営する持株会社のJ-ホールディングス（株）

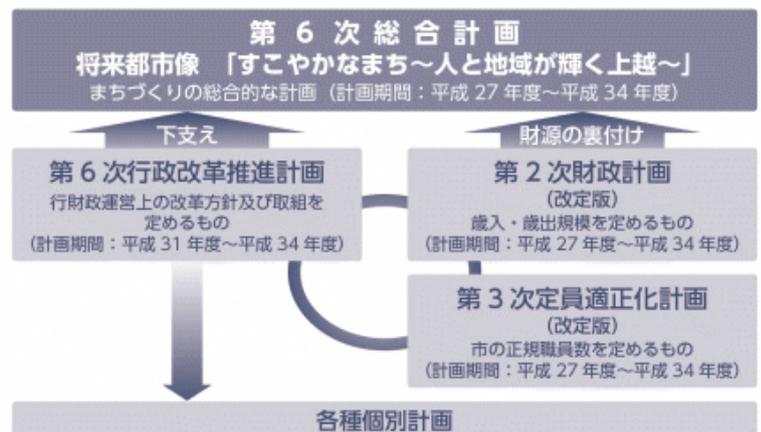
## 基本方策5 効果的・効率的な組織体制の推進

- ・定員適正化を図り、効果的・効率的な組織体制を構築します。
- ・人材育成方針に基づき、研修や仕事を通じた人材育成を推進します。

## 計画の位置付け

本計画は、市の最上位計画である第6次総合計画で掲げた将来都市像「すこやかなまち～人と地域が輝く上越～」の実現に向け、その下支えとして策定するものです。

また、「財政計画」及び「定員適正化計画」や各種個別計画とも連携を図り、第6次総合計画を推進します。



◆計画及び今後の進捗状況は、市役所木田庁舎1階や各区総合事務所等の市政情報コーナー及び市ホームページでご覧いただけます。

◆本計画における年の表記は、新元号が未定であるため、改元が予定されている日以降の年についても「平成」としています。

# 事務事業評価の結果について

## 1 事務事業評価の実施

### (1) 目的

第6次総合計画における施策を評価し、また、施策を実現するための事務事業を評価することにより、限られた経営資源（財源、公共施設等、人材・組織）の範囲で、政策的視点から施策の重点化を明確にするとともに、行政改革の視点から事務事業の必要性・有効性・効率性を検証し、施策の実現に資する重要な事務事業を着実に推進しつつ、事業量と業務量の削減を図るもので、具体的には次の3点を目指します。

- ・ 財政規模の縮小への備え … 歳入に見合った歳出規模と業務量への見直し
- ・ 経営資源の最適配分 … 施策評価に基づく施策・事業の重点化
- ・ 最小経費・最大効果の事業執行 … 目的・目標の再確認及び事業執行の更なる効率化

### (2) 対象事業（1,408事業）

- ・ 平成31年度から平成34年度までに実施を予定する一般会計及び特別会計（公営企業会計を除く。）の事務事業（1,313事業）

ただし、施設の廃止・見直し等については、平成32年度末までに策定する個別施設計画で検討するため、対象外としました。

- ・ 予算は計上されていないが、一定以上の業務量を要する事務事業（95事業）

### (3) 評価の手順

#### ア 施策評価

第6次総合計画前期基本計画に基づく42の基本施策を構成する106の「施策の柱」ごとに、進捗や課題を考察し、今後4年間の取組の方向性を明確化した上で、政策的な事務事業の評価に反映しました。

#### イ 事務事業評価

評価段階	評価者
一次評価	事業所管課が評価項目（必要性・有効性・効率性）に基づき評価し、事業の方向性を判断
事務局ヒアリング	事務局（行政改革推進課・企画政策課・財政課・人事課）が一次評価に対し事業所管課へヒアリング
二次評価	副市長・教育長・政策監が、一次評価及び事務局ヒアリングによる事業の方向性に対し政策的視点で評価
最終評価	市長が二次評価に対し政策的視点で評価

### (4) 一次評価の評価項目

評価項目	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民ニーズ（市民の声や要望、対象者数の推移等）を検証</li> <li>・ 行政関与の必要性（市が実施すべき事業か、民間や国県による代替が可能か）を検証</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標の達成状況、進捗状況、主な成果（平成27年度～平成29年度）を検証</li> <li>・ 政策間の連携による複数分野での相乗効果を検証</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣自治体や類似団体との比較による事業規模・サービス水準を検証</li> <li>・ 民間活力等の活用による事業実施の可否など事業の実施方法を検証</li> <li>・ 事務の効率化・簡素化（経費削減や事業の整理・統合などの可否）を検証</li> <li>・ 適正な受益者負担（事業費やサービス水準とのバランス、自主財源の確保）を検証</li> </ul>

#### (5) 評価結果の区分（事務事業の方向性）

平成 34 年度までの事務事業の方向性について、次の区分により評価を行いました。

次ページ以降の評価結果一覧については、評価結果のうち、「廃止」「一部廃止」「見直し」「拡充」と評価した事務事業を掲載しています。

なお、平成 34 年度までの間には、本資料に掲載されている評価結果だけではなく、平成 35 年度以降の収支均衡を目指し、一層の事務事業の見直しに取り組みます。

評価区分	内容	事業数
廃止	・ 廃止とする事務事業	25
一部廃止	・ 事業規模、対象者等を縮小する事務事業	24
見直し	・ 事業の成果・効果を高めるために内容を見直す事務事業 ・ 事業の実施主体やサービス提供方法、受益者負担を見直す事務事業 ・ 今後の方向性について、制度や計画等を含めて検討する事務事業	179
拡充	・ 事業規模、対象者等を拡充する事務事業	18
完了	・ あらかじめ完了年度が設定されており、今後確実に完了が見込まれる事務事業	154
現状維持	・ 継続して実施する事務事業	1,008
合計		1,408

#### (6) 評価結果の取扱い

##### ア 関係者との協議

- ・ 事務事業評価は、財政収支の均衡を目指すための行政の自己評価であり、今後、関係者等への説明や協議を十分に行いながら取組を進めていきます。

##### イ 評価結果の反映

- ・ 評価結果と連動した「財政計画」及び「定員適正化計画」を策定しました。
- ・ 評価結果に基づく取組を反映した予算編成を実施します。

## 令和元年度 有田区地域活動支援事業の採択方針等について

項目	令和元年度の方針
募集期間	・4/1(月)から 5/7(火)まで
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3/1 地域協議会だより全戸配布(事前相談の案内等)</li> <li>・3/18 募集説明会を開催</li> <li>・4/1 募集要項を全戸配布</li> </ul>
採択方針	<p>有田区住民の活性化につながる事業及び住民の生活環境の向上に資する事業で、事業実施による効果が期待できる事業を優先的に採択する。          なお、優先的に採択する以外の事業については、制度の趣旨や全体のバランス、地域の要望等を考慮し採択する。</p> <p><b>優先的に採択する事業の分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域振興に資する事業              (例) 住民交流(世代間交流)事業、各種団体との連携、住民啓発事業、住民交流の場(施設、公園など)の充実等</li> <li>○生活環境の向上に資する事業              (例) 環境美化活動、道路沿線のクリーン活動、花いっぱい運動、住環境の充実につながる事業等</li> <li>○安全安心、地域防災の向上に資する事業              (例) 安全安心マップ作製・配布、通学路危険箇所の調査・マップ作製、防犯活動(ベスト、帽子、旗等の整備)支援、水害避難訓練等</li> <li>○教育文化・健康に資する事業              (例) 教育環境の充実、伝統文化の継承(復活)、スポーツ・レクリエーション事業、健康増進事業等</li> <li>○その他              上記に属さないが、有田区の活性化につながる事業</li> </ul>
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全事業ヒアリングを実施する。</li> <li>・提案書、ヒアリング内容をもとに審査を行い、全体協議を経て採択等を決定する。</li> </ul>
補助率等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上限・下限なし</li> <li>・傾斜配分:なし</li> <li>・補助率:10/10以内</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員が提案団体の代表者や役員であった場合の審査への関わりについて              → 全ての審査に参加する。</li> </ul>

## 令和元年度 有田区 地域活動支援事業提案書 受付一覧

No.	事業の名称	団体等の名称	複数区に 提案して いる場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	担当課所見		
				事業費	補助希望額		担当課	所見	特記事項
1	有田地区いきいき支援事業	有田福祉の会		633	632	カルチャーセンターを拠点に高齢者の介護予防につながる通いの場として実施している「すこやかサロン」の内容を充実させ、必要な備品を備えることで、更なる高齢者支援と地域全体で支え合う基盤を作り、地域活性化を図る。	高齢者支援課	課題なし	
2	有田わくわくフェスタ事業	有田子どもフェスタ実行委員会		290	275	世代間の交流を図り、地域全体で子どもたちを育てていくきっかけづくりのため、講師の補助は中学生ボランティアが担い、大人も子どもと一緒に楽しめる「有田わくわくフェスタ」を開催する。	社会教育課	課題なし	
3	「有田地区の歩み」(仮称)を発行する事業	「有田地区の歩み」を発行する会		1,404	1,403	有田地区の社会事象の変化を知り、地域を愛する心を育成するため、地域の歴史を冊子にまとめる。	文化行政課	課題なし	【文化行政課】 冊子は完成後、参考資料とするため当課へ1部寄贈(難しい場合は貸与)をお願いします。
							人権・同和対策室	課題あり	【人権・同和対策室】 上越地域の歴史には差別を受けていた人々の歴史もあることから、編集内容には特段の配慮が必要です。
4	直江津東地域学校教育・家庭教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	保倉区、 北諏訪区	453	408	直江津東中学校区の学校教育及び家庭教育の一層の充実を図るため、「教育要覧」「教育ハンドブック」を発行し、各家庭等に配布する。	学校教育課	課題なし	【学校教育課】 事業の実施に当たっては、学校と十分に連携してください。
5	直江津東地域防災・防犯活動支援事業	直江津東地域学園運営協議会	保倉区、 北諏訪区	2,040	1,684	直江津東中学校区の住民の防災、防犯活動に活用するため、「直江津東中学校区地図」の作成及び配布を行う。	市民安全課	課題なし	
6	有田地区体育・レクリエーション協会事業	有田地区体育・レクリエーション協会		710	700	有田地区住民の体力づくりと親睦を図るため、輪投げ大会、自然散策、親善ソフトバレーボール大会、体育祭などを実施する。			
7	上越市立直江津東中学校野球グラウンド整備事業	直江津東中学校野球部保護者会		472	471	直江津東中学校の生徒たちが、安全・安心にグラウンドで部活動できる環境を作るために、生徒、保護者が一緒に整備を行う。	教育総務課	課題あり	【教育総務課】 グラウンドは、本来重機及び車を乗り入れる場所ではないため、重機等を乗り入れる場合は、タイヤの跡を残す等グラウンドを傷つけないよう配慮してください。学校施設を損傷させた場合は、現況復旧していただくこととなります。ベンチ及びコートブラシの設置については、使用者の責任において管理し、使用者の所有物であることがわかるよう明記してください。
							スポーツ推進課	課題あり	【スポーツ推進課】 グラウンド整備に係る学校との共同作業に関し、トラクターの能力を超える作業の実施や機械トラブルの懸念がありますので、事前に教育総務課や学校、トラクターを運転する職員等と打合せを行い、詳細な作業内容を明らかにしてください。
8	有田地区交通安全・防犯、防災啓発活動推進事業	有田地区町内会長協議会		1,073	1,072	各町内で行っている防災活動を推進するため、実態調査を行うと共に、各町内が円滑に防災に対応できるよう支援する。	市民安全課	課題なし	
9	有田地区小学校音楽演奏活動支援事業	有田地区小学校後援会		482	481	有田区の各種行事を盛り上げることを目的に、有田小学校と春日新田小学校で専門家による演奏技術講習会を行うほか、春日新田小学校で不足している楽器の補充を行い活用する。	教育総務課、 学校教育課	課題なし	【教育総務課】 備品の適正管理の観点から、明確な表示等により事業主体所有備品と学校備品との区分け管理が適正に行えるのであれば、備品の購入に支障はありません。 ただし、事業主体所有備品の修繕・メンテナンス費用は、事業主体から負担いただくこととなります。 【学校教育課】 事業の実施当たっては、学校と十分に連携するとともに、児童の安全に配慮してください。備品を購入する場合は、備品の適正管理の観点から、提案団体所有備品と学校備品との明確な区分け管理が行えるのであれば購入に支障はありません。 ただし、提案団体所有備品の修繕や更新費用は提案団体が負担することとなります。

No.	事業の名称	団体等の名称	複数区に提案している場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	担当課所見		
				事業費	補助希望額		担当課	所見	特記事項
10	直江津東中学校区小・中学生キャリア教育支援事業	直江津東地域学園運営協議会	保倉区、北諏訪区	2,899	2,440	小・中学生の自立や、若手リーダーの育成等を地域全体で支援するために、地域の企業や中学校の卒業生、地域住民の協力を得て、仲間づくり活動や講演会の開催、職場体験成果発表会、立志式等を実施する。	学校教育課	課題なし	
11	第10回マリンロード350プチ花壇コンテスト事業	350同友会		614	528	国道350号線周辺地域の活性化を図るため、昨年に引き続きプチ花壇コンテストを開催する。	道路課	課題なし	【道路課】 一般国道350号については、道路管理者である上越地域振興局と協議してください。
			残額						
配分額 (単位:千円)	8,800	差引	-1,294	11,070	10,094				